

議会だより ここのえ

今春開園した
“ここのえみつばこども園”
姿勢をただして
「いただきます」

No.113 2016.4.17発行

3月定例会

- | | | | |
|-------------|-----|-----------------------------|------|
| ●平成28年度当初予算 | P.2 | ●一般質問 8名 | P.9 |
| ●当初予算質疑 | P.4 | ●わたしのひとこと | P.17 |
| ●常任委員会報告 | P.5 | 南山田・富迫下 矢野 輝幸 ^{さん} | |
| ●おでかけ議会報告 | P.8 | 東飯田・竜門 西田 光夫 ^{さん} | |

発行 九重町議会
編集 議会広報特別委員会
平成28年4月17日
〒879-2489 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎0973-76-3814 FAX 0973-76-3809
メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp.

持続可能な町をめざし新年度予算決定

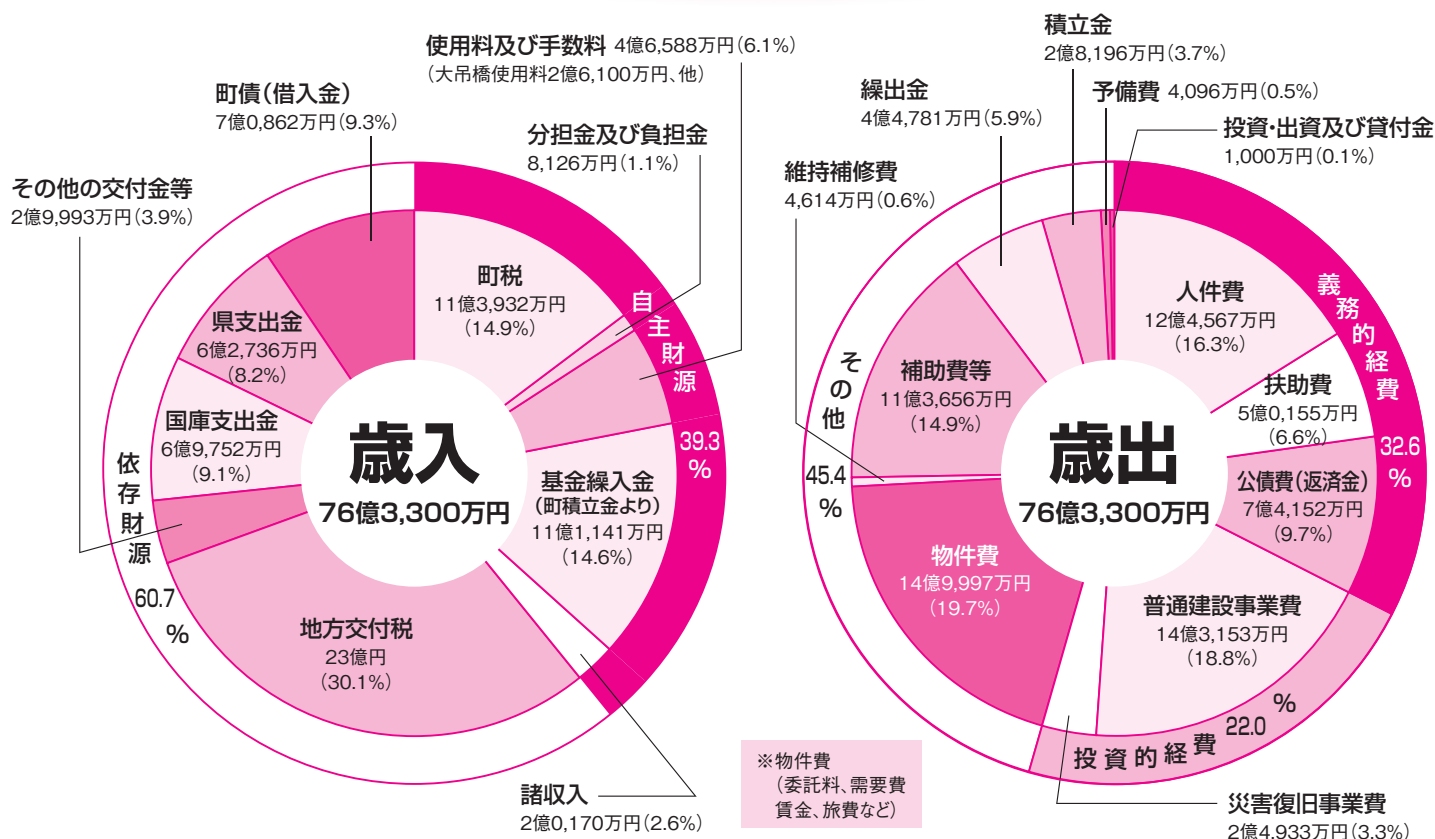
本定例会は、3月1日から18日までの18日間開催されました。

議案39件、発議1件を慎重に審議しました。

平成28年度 一般会計当初予算

76億3,300万円

前年度比6億2,800万円の減(▲7.6%)



特別会計予算総額 38億6,357万7千円

国民健康保険特別会計	19億6,313万2千円
水道特別会計	2億4,046万5千円
飯田高原診療所特別会計	7,298万9千円

介護保険特別会計	14億2,994万2千円
介護サービス事業特別会計	2,686万8千円
後期高齢者医療特別会計	1億3,018万1千円

平成28年度 一般会計当初予算 主な事業

✳公共交通網形成計画策定業務委託
..... 9,980千円

✳路線バス運行補助金
平成27年10月から平成28年9月
..... 45,705千円

✳コミュニティーバス購入事業
路線バス廃止による..... 42,120千円

✳移住者居住支援事業 9,250千円

✳地区協議会補助金(4地区)
..... 1,710千円

✳100%出資株式会社出資金
..... 1,000千円

✳社会協議会補助金 13,500千円

✳ひとり親家庭医療費 5,500千円

✳高齢者世帯リフォーム支援補助事業
..... 3,000千円

✳東飯田・野上保育園幼稚園解体費
..... 50,789千円

✳園児送迎バス運行管理業務委託
..... 11,864千円

✳有害鳥獣捕獲報奨金..... 20,200千円

✳原木椎茸種駒購入助成・・ 10,000千円

✳商工振興費補助金 5,000千円

✳観光協会補助金 13,700千円

✳小松地獄園地整備事業・・ 11,900千円

✳クロスカントリー改修補助金
..... 10,000千円

✳定住促進住宅建設事業費(奥野)
..... 2億74,969千円

✳栗野消防詰所建設工事(設計等含む)費
..... 20,500千円

✳桐木小型ポンプ車購入費・・ 6,500千円

✳スクールバス運行業務委託料
..... 63,465千円

✳南山田ふれあい交流センター建設費
..... 267,800千円

✳北区集会所建設工事(設計等含む)費
..... 30,241千円

✳子宝支援補助金 10,080千円

✳育児支援補助金 6,000千円

✳出産祝い金 2,100千円

当初予算質疑

Q 町民税について10年前と変わらないが要因は。

A 人口減少等に伴ない税収が伸び悩んでいるが安心安全の町づくりを進めたい。

Q 老人はり・きゅう、按摩の助成金は申請手続きがむずかしいと聞く簡素にできないか。

A 一回につき千円助成しているが手続き後に認定証を出している。窓口に来て簡単にしてほしいとの声は聞いている。

Q 老人クラブの助成事業補助金、申請手続きがややこしいと聞く。書類づくりが大変で役員になりてが無いことから解散するところもあると思う。簡素化はできないか。

A 書類作成については指導しているが今後老人クラブの役

員と協議を行ないたい。又、先進地視察も実施したい。

Q 大分子育てクーポン事業はどのようなことか。

A 県事業で1/2を県が負担している。1人に対し1万円をインフルエンザや歯のフッ素等利用している延べ356人に支給している。今後は適用範囲を広げる。

Q 公共交通網形成計画策定行務委託998万円の詳細は。

A 概算見積りを取りプロポーザル方式を取り入れたい。

Q 移住者居住支援事業補助金925万円、引越助成等と思うが条件内容で移住先を決めてしまうのではなく、町に魅力を持ち移住して来るようにすべきではないか。

A まち・ひと・しごと、創生会議で定住促進を進める中、空き家の住宅改修事業等を行ない定住促進をはかりたい。

Q お助けリーダー活動運営委託105万円は全ての運営を委託するのか詳細を。

A リーダーの養成や研修、ベストやバッグ等お助けリーダーの消耗品や100名のボランティア保険、弁当代、臨時職員の人件費等である。

Q 特定不妊治療費助成事業負担金139万円の周知や現状等の状況は。

A 国の制度改定に伴ない県と協定を結び昨年10月から上積みをしているが年令が若い方や中年の方で金額が異なったり、卵子を取って体外受精等とさまざまな形態がある。10人程度が利用。

Q 小学校の大規模改修が予定されているが550万円設計委託費が計上されているが老朽化とは思えない。現状を

見ているのか過疎計画にあるがっているから建て替えるのではなく公共物の建築ラッシュで財政の適正化を検討すべきでは。

A 過疎計画にもあげ危険な状況にもあることから東飯田小学校、野上小学校の大規模改修をやりたい。

Q 部活動費75万円で、部活動に住民等に指導を協力いただくなどの取り組みはできないか。

A ソフトテニスで外部コーチを招へいしているが今後積極的に検討したい。

Q 町民が考える町づくり会議委員への報酬が一律年報酬から、今回、委員会への出席回数による報酬に変更された理由は、委員会への出席状況にばらつきが出て、不公平になるためということであるが、そういう状況は、町づくり会議の必要性が小さくなってきたことになるのではないか。

A 町づくり会議のあり方が発足当時とは変わってきたところもあるが、町づくりに必要な組織なので、その任務が十分果たせるように運営していく。

Q 町づくり会議の任務は、町民に代わって、町政について、意見・提言を述べることなどであるが、そのことが町民に見えていない。毎年度末、その主な内容について、「広報このえ」で町民に知らせることが必要ではないか。

A 「広報このえ」等で、町民に知らせる。



飯田養豚場計画

継続審査となっている
飯田養豚場建設を求め
る陳情の中間報告

昨年の11月12日に議員全員でJA北九州ファームより湯沢の計画予定地において建物の建設位置や規模の説明を受け、河川の現況等々の調査をしました。

同日に、申請者が経営する「熊本県玉名農場」の現地視察を行い、農場の状況等の調査を行いました。

今年1月18日に菅原の大大分県畜産公社が経営する「九重ファーム農場」の現地視察を行い、現状の確認と聞き取り調査を行いました。

今までの経過を踏まえ、常任委員会も基本的な考え方を



建設予定現地の説明を受ける

を整理する上において、現時点では申請書も未提出であり、まだ十分な協議ができていない状況であります。町民においても様々な思いがあると考えます、したがって、引き続き「継続審査」とすること意見の一致を見ました。

人事案件 1件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



矢方 政臣さん
田野

前固定資産評価審査委員会委員が、平成28年3月21日で任期満了となることから、その後任に、矢方政臣氏を選任することに同意しました。

宝泉寺交通センター指定管理者を指定

(平成28年第1回臨時議会1月18日)

指定
管理者

住所 九重町大字町田
名称 南山田物産組合
代表者 組合長 矢野 敏朗氏

指定
管理期間

平成28年4月1日から
平成31年3月31日まで



開園した、ここのえみつばこども園

教育民生観光常任委員会 審査報告

議案
2件

いづも園

4月1日に開園する総合こども園に伴い、3地区の各幼稚園、保育園を閉園。
新たな、総合こども園の所在地を定めると共に、総合こども園の名称を、九重町立ここのえみつばこども園、とすることにしました。



教育支援センター予定地(旧明倫幼稚園)

不登校児童 に対応

不登校の児童、生徒への対応は不可欠であります。

町では、不登校児童に対応する「教育支援センター」を設置、施設及び人員を配置する予定です。

施設は、旧明倫幼稚園の施設を有効活用したいと考えています。

審査報告

議案
16件

可決された議案

道路廃止について

町道野上団地線・町道下双石野上線が県道飯田高原中村線工事完成に伴い区間が変更になったため、一旦廃止して変更したものを新規認定するものであり可決しました。

7号線町田工事完成により旧国道を町に管理移管されるもの。

町道南区線、高山線、高山下小屋線は県道飯田高原中村線工事の完成に伴い、旧県道を町に移管されるもの。

道路認定について

町道富迫壁湯線、国道38

号支線、野上団地1号線、野上団地2号線、下双石野上線は県道飯田高原中村線工事の完成に伴い、新規認定するものであり可決しました。



改良された県道飯田高原中村線



子育て支援課は一階へ移動

課設置条例の一部改正について

法律の一部改正に関連し、認定こども園の円滑な事務の実施のため、平成28年度の組織機構において、子育て支援課の所掌を町長部局とするために条例中に子育て支援課を追加するものであり可決しました。

職員の給与に関する条例の一部改正について

2015年人事院勧告に基づ

き、国家公務員の給与の改定が行われることから実施するものであり、当町の改定内容は月例給については勧告に準じた給料表の改定を行うものであり可決しました。

職員給与の特例に関する条例の全部改正について

ラスパイレース指数の平準化に向けて職員の給与の減額を行うものであり可決しました。

職員の給与に関する条例等の一部改正について

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律が、施行されることに伴い、人事評価制度の導入及び等級別基準職務表の条例化が義務付けされたため、所要の改正を行うものであり可決しました。

九重町臨時的任用職員の任用、勤務条件等に関する条例の制定について

地方自治法並びに地方公務員法の規定により、臨時的任用職員に対する報酬及び費用弁償の額並びに支給方法並びに勤務労働条件について条例に定める必要が生じたことから条例の制定を行うものであり可決しました。

おでかけ議会実施

1月23日(土)…突然の雪の中…

野矢地区の要望により多くの参加者と活発な意見が！

話された主な意見

時代に合った地域づくり、安心安全なまちづくりをめざし議論している。

Q 4地区だけでなく、各行政区にも来てほしい。

A 年一度は4地区に訪問している。要望があれば出向きたい。

Q 地方創生の取り組みは。

A 人口減少や高齢化社会をむかえ、「持続可能なまちづくり」を推進するうえで、将来の財政計画を見据え、

Q 九重町地熱資源の保護及び活用に関する条例について。

A この条例は、九重町における地熱発電事業に関する手続を定め、資源の持続可能な利用を図ることにより、環境保全を目的とする。

Q 防災無線の雑音がひどくいざという時、使えないのは困る。調査、改修を望む。



野矢地区で開催したおでかけ議会



町の地熱開発

A 行政を通じて調査を行いたい。

Q 災害時における消防団の倉庫の備品は少ないのではないか確認してほしい。

A 最低限の備品はそろえているが、今後検討してそろえて行きたい。

Q 有害鳥獣捕獲後の処理が大変、対策はないか。

A 狩猟者と話し合い協働作業に取り組んではどうか。

Q 町営住宅を野矢地区に建ててもらいたい。

A 定住促進につながるよう執行部に要望していく。

Q 移住希望者に対するサポートが竹田市などと比較す

ると不足しているのでもう少し充実してほしい。
A 希望に沿うよう執行部に要請する。

行政に対して、
町民の声を
反映させるべき要望が
多く出されました



子育て世代の豊後中村住宅

町政を質す 一般質問

8名の議員が質問

佐藤
明郎



- ◆ 地域支え合い助成金新設せよ
..... やり方も含め検討する
- ◆ 待機児童対策
..... 深刻に考えている

● 町民の実感が不可欠

佐藤 地域支え合いを進めるために、認知症サポーター、防災士、お助けリーダー等、様々な取り組みを行っているが、町民が効果を実感できる状況にない。

課題はどこにあるのか。

町長 指摘のとおり、地域での話し合いが必要であり自らの問題との自覚を持つて頂く事が大事である。

区長、地区協議会にお願いをしており、期待している。

佐藤 区長に荷を掛けすぎ地区協議会も行政区毎の対応は厳しいと考える。

地域毎にしっかりと一人ひとりの困りを出し合い、自分達に何ができるのか探るため、話し合い実行する助成金を予算化すべきだ。

町長 実際に、その様な予算を出している自治体もあるが、財政面もあるので、来年度にむけて、どういう形が良いのかも含め検討する。

● 保育士待遇 決断の時

佐藤 立派な総合こども園が完成した。

結婚支援、子育て支援しても、待機児童が生じてはならない、大丈夫なのか。

教育長 施設的には問題ないが、人材確保の面で非常に困難な状況にある。

佐藤 答弁にもあるように臨時職員の待遇が大きな課題である。

思いきった対策をしないと、人材確保は今後も改善しないとと思う。



地域ささえあいの打ち合わせ(松木中須地区)

教育長 職員の数が決められており、臨時で対応しており、非常に深刻に考え、協議も重ねている。他の部署の関連もあり、来年度に向けて考えなければならない。

● 農業振興、 耕作放棄地について

佐藤 私が9月議会で提案した、耕作放棄地の活用方法を検討すると答弁したが、その後どうなったのか。

町長 スピード感を持って取り組みたい。

◆ 安心で安全な町づくり

..... 毎年防災計画を見直している

◆ 基幹作物である水稲をどうする

..... 消費者に求められる米づくりの推進

◆ 町営住宅の老朽化対策

..... 本年度より計画する



大津留 敏加

● 九重町地域防災計画について

大津留

くじゅう連山で21日に火山性地震を観測したが、防災計画はどうなっているか。

集中豪雨や大型台風に対する防災計画はどうなっているか。

町長 くじゅう山系について県や竹田市などと火山防災協議会を設置しており、防災計画を策定している。

集中豪雨や大型台風の避難勧告は国や県、大分気象台と連携し危険情報の迅速な伝達をしていく。



防災監視が続く硫黄山

● 地域公共交通形成計画について

大津留

高齢化社会が進む中、本年9月末で民間による路線バス廃止への対応やスクールバス、園バス、コミュニティバスの効率的な運営計画はどのようなになっているか。

町長 民間路線バス廃止後に玖珠美山高等学校、飯田小学校の通学の確保と地域の実情に合った交通網計画を今年度形成し、国に事業要望をしていき交通網形成計画を樹立していく。



廃止予定の路線バス停

● 基幹作物である水稲について

大津留

飼料用米の本作化支援、環境保全型農業（特別栽培米・ブランド米）の地産地消をどのように考えているか。

畜産農家（肉用牛）のヘルパー制度に向けた利用組合の組織造りはどうするのか。

町長 飼料米については、課題克服に努め拡大を図る。WCSについては、生産拡大を進める。

ブランド米は、筑後川の源流地域として、環境面の情報発信を行い、構築を図っていく。

肉用牛生産基盤の確保からヘルパー事業は必要であり、関係機関と調整しながら制度の展開をしている。



期待されるヘルパー制度

● 町営住宅の整備について

大津留

飯田地区の町営住宅は、建築されてから35年以上経過し、老朽化が著しい建て替え計画と町有地の有効活用について。

町長 飯田地区の町営住宅の建て替え計画について、3団地8戸あり、建築後38年から50年経過しており、町有地の有効利用を考え本年基本計画を行い、翌年造成をして平成30年に建築工事予定である。



取り壊される予定の住宅



行政も推進するWCS

増田 裕子



- ◆町100%出資会社の内容は 詳細が決まり次第、説明を
- ◆公共交通網形成、住民の声は アンケートと交通協議会で
- ◆農林業の振興、販路開拓に力を入れては 取り組みたい

もつといていない住民との話し合いを

●町100%出資会社について

増田 新年度予算にあげられている出資金一千万円の根拠は。

町長 将来的に労働者派遣を考えて一千万円を計上した。ただし未満であれば消費税課税猶予等メリットや制限のデメリット等があるので勘案して決めていきたい。

増田 町内で雇用の問題は深刻だ。例えば子ども園の保育士不足。フルタイムの臨時職では余りにも条件が悪すぎる。町100%出資会社で雇用条件をある程度整えて派遣していくような構想や将来像は。

町長 当面、吊橋、泉水グリーンパーク等の管理委託を考えている。その先に雇用環境の改善など諸問題解決のための会社にしたい。

増田 町が100%出資ということ、町民全体で出資するという。町民の合意を

どう得ていくのか。

町の重要な施策について、

新聞報道で町民が初めて知るような現状はいかがなものか。

町長 これから詳細な事業計画が決まり次第、また区長会や住民へ説明にあがりたい。

●住民の使い勝手のよい交通網を！

増田 「公共交通網形成計画」の構想は。現在コミバスの問題点等どう改善していくか。

町長 飯田路線バスの撤退に伴い、幹線と支線に分けて運行を図る。飯田公民館、中村駅、森駅を29人乗りバスで幹線にし、コミバスを接続するような構想。通学の便は確保する。現コミバスの問題点は、非常に利用客が少ない等路線ごとにばらつきが大きい。

増田 住民の声をどう聞いていくか。
町長 住民アンケートと交通

協議会で検討する。できれば区長に、意見聴取をしてまとめてもらいたい。

●農林業の振興：販路の開拓などもつと重点的に

増田 町の基幹産業である農林業の振興は非常に重要。農地を守り、山を守る営みこそが九重町の美しい景観を形づくり、観光とも切り離せない。課題は。

町長 担い手不足や新規就農のハードルの高さ等、長年の課題である。この中山間地は小さな農業があつて景観を守り、農村文化を守つてきているが、国の方針は農業大型化・集約化で逆。難しい。

増田 やはり一番の問題は、労働に見合う対価が得られないこと。生産への助成ばかりでなく、販路を開拓する、流通ルート

をつくる仕事に重点を置いては。

町長 販路という問題、又パークマツト開発への支援等、取り組んでいきたい。

●各地区の自主性をのばして

増田 教育行政基本方針の中にある各地区協議会の活動支援に努めるとは。

教育長 地区協議会は自主的、主体的な住民組織。地域の課題を自分たちで解決していく。社会教育は住民のそういう自主的な活動、学習的な側面をしっかり支えていきたい。



活発な議論がはざむ南山田地区協議会

◆ TPP対策 畜産農家支援は

..... 国の動きを注視する

◆ 奨学金 給付・贈与は

..... 地元に残った人には考えたい

◆ バークマット すばらしい研究だ

..... 支援していきたい



菅原 美好

● 米軍の日出生台
演習訓練について



米海兵隊日出生台演習

菅原 今年も11回目の海兵隊の演習が終った。協定や覚書は守られ、住民からの苦情はあるか。日本周辺の防衛は、北朝鮮の核、ミサイル発射、中国の領土拡大の人工島建設など、周辺国は不安だ。友好国、アメリカ海兵隊の訓練は、抑止力にもなる。訓練は静観すべきだ。今、防衛関連予算は、過去に、防音工事が行なわれた。規模はどの位か。

町長 1市2町と県で四者協をつくって対応している。地元住民に迷惑のかかることなく推移している。特定防衛施設周辺整備事業の通常分として約8千万円、SACCO予算で8千万円、防音工事関係は、約390世帯、約38億円である。

● TPP対策は

菅原 県は「TPP協定の経済結果分析」を発表した。県全体で最大22億円位の減少となっている。町の経済効果（減少）は、特に、畜産農家の損失は大きい。手厚い予算措置を考えるべきだ。

町長 政府ベースの試算であり、詳しくはしていないが、町の生産減少額は1億から2億円かと考えている。堆肥舎の整備や農業機械のリースなどの要望があり、国の対策に準じて、町も当初予算に間に合わないので、6月以降の補正で対応する。

● 生活困窮家庭
(奨学金)の支援は



畜産(牛)

菅原 県下の18才未満の子供の貧困率は13・8%、7人に1人だ、昨年4月、生活困窮者自立支援法が施行され、平等な教育の機会が奪われない施策が必要だ、玖珠郡育英会は貸与で、経済や出産など、3割の方が返還は大変と言っている。奨学金を給付、贈与はできないか。

町長 玖珠郡育英会の利用実績は、昭和38年スタート、平成24年まで、高校生549人、大学、専門学校生835人、貸与総額5億数千万円、平成25年65名、平成26年54名、年2千万円程度貸し出している。地元に残った人には、返還猶予してもいいのではと議論している。

● 玖珠美山高校の
バークマットへの支援は



玖珠美山高校トマト栽培研修

菅原 郡内の行政、議会、事業者、マスコミなど出席、バークマットの実証栽培試験の検果を生徒が発表した。大分県賞詞、大分合同新聞社賞など、いろいろな賞をもらい、すばらしい研究だ。バークマットの製造の特許申請を進めている。この研究に、どのような支援を。

町長 地域と農林業のつながる循環型農業の観点からすばらしい。町内のトマト生産農家で試作してもらい、質、収量とも良好なら、全トマト農家へ普及推進が図れる、支援していきたい。

佐藤 博美



◆ ふるさと納税どう取り組む

..... 3割にはこだわらない

◆ 耕作放棄地対策としてふるさと納税を

..... 特定目的を明確に打ち出してやっていきたい

◆ 町100%出資の会社、第3セクターとの違いは民間の活力

..... 町100%出資で地元雇用、安定雇用を目指す

● ふるさと納税 どう取り組む

佐藤 27年度からふるさと納税の返礼を納税額の約3割としてきたが、その成果と課題は。

町長 26年度は36万円だった
が27年度は1月末で300万円
のふるさと納税の寄附金とな
っている。課題としては返礼
品として返す品目の申し込み
が少ない事と、町内でブランド
品がない事である。

佐藤 ふるさと納税に取り組
んでいる市町村には、数億か
ら十数億円の寄附を集めてい
る所もある。3割の返礼でな
く、他の所と同じ位の5割位
に上げる事で納税額を増やせ
るのでは…。

町長 3割にこだわらず、ふ
える見込みがあれば5割の返
礼も内部的に協議していき
たいと思う。

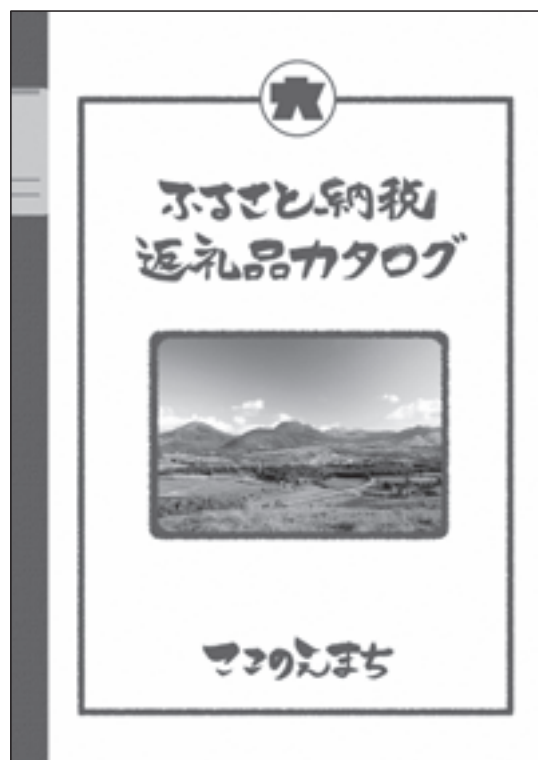
● 耕作放棄地対策としての ふるさと納税を

佐藤 町内に水田の耕作放
棄地が増えている。筑後川最
上流のこの九重の自然を守る
ため。

中山間地の棚田を守るため
の目的税として、九重町の町
づくりに参加してもらう。そ
のお礼として、九重の田んぼ
でできた米や野菜を食べても
らう。

ふるさと納税を通して、生
産者と消費者のつながりがで
きるのではないか…。

町長 本町の寄附金条例は、



高齢者福祉、コミュニティづ
くりと自然環境保全という3つ
の柱で今日まで動いてきた
が、このふるさと納税をふやし
ていくためには、特定目的を
明確に打ち出してやってゆくの
が、本来の筋だと思うので、P
Rの仕方、リーフレットのつく
り方等は意見を参考にしてい
ていきたい。

● 町100%出資の会社、 第3セクターとの違いは、 民間の活力どう活かす

佐藤 九重町は第3セクター
はしないという事で今まで来

たが、この株式会社との違い
は…。

又、役場職員の定年後の受
け皿になるのではという心配
をしている人が多いが…官では
なく民間の活力をどう活か
してゆくのか。

● 町100%の出資で 地元雇用、安定雇用を 目指す、経営者は天下り ではなく公募を目指す

町長 第3セクターは町と民
間の出資であるが、今回は町
100%の出資で行う事の違
いである。

本来なら、町内の民間が
やってくれる事が望ましいが、
現実にはできないので、町が1
00%の会社で地元雇用、安
定雇用を目指して取り組んで
ゆく。

経営については、天下りとい
うことではなく、公募して経
営者を決めてゆきたい。

土井 真一郎



◆町100%出資の会社、事業内容等は詳細が煮詰まったら説明

●町100%出資の会社 事業内容等は

土井 町が100%出資する株式会社の実業内容、運営、管理は。

今回計画されている町が100%出資する株式会社の内容について町民への周知等はどの様に考えているか。

町長 詳細に煮詰まったら近い段階にいつというのは明確に言えないが事前に議会に説明する。

土井 会社の設立の時期については。



玖珠工業団地

●雇用対策について

土井 町民が一番望んでいるのは、働き場の確保とあったことである。現在の

町長 いつまでとは決めているが、できるだけ年度の前半までに立ち上げ、新年度に向けて準備をしたい。



おひさまファーム 野菜苗づくり

●農林業の振興について

土井 農林業の振興について企業等の参入が急務であるとなっているが参入する場合の基本的な考え方は。

町長 現地法人の設立、地元雇用の促進、地域貢献、環境への配慮など地域に根差した企業として参入を要望する。

●組織機構変更に伴う 業務移管について

土井 町民の方が来庁した場合にわかりやすい目立つた案内板の設置や広報の周知が必要と思うがどのような対応するのか。

町長 庁舎内に看板などの設置、広報、ケーブルテレビ等通じて周知に努める。

町長 進路については玖珠町が開設している。埋蔵文化財の発掘調査は58%の進捗率である。今後においても玖珠町と県との連携をとりながら企業誘致に努力したい。

佐藤 太治



- ◆男女共同参画社会の取り組みは
……社会環境の整備や意識改革を引きつづき推進していく
- ◆ふるさと納税の現状は、3割の返礼で充実できるか
……色んなアイデア、提案を参考に今後取り組む
- ◆大吊橋を含めた総合的、具体的な観光開発は
……当初施政方針で観光振興計画を立てる中で町民の意見を聞き将来を計画する



ふるさと納税返礼品

●男女共同参画

佐藤 10年が終了して成し得た成果と課題の認識、今後の取り組みは

町長 女性の就業に付いての意識は高くなっているが依然として女性の地位や登用状況は低い状況にある。今回新たにプランを作成し、男女が共に活躍できる社会環境の整備や意識改革に引き続き推進していく。

佐藤 現社会の人事は男性基準でどうしても男性優位になる。数値目標を定めれば、少しは改善出来るのではないかと。

町長 この計画については、重点政策と目標指数として載せている。女性の審議会委員等への登用の割合は具体的な数値を示している。管理職の登用は具体的な数値は上げていないけど、男女共同参画の指標でもあると思うので、積極的な登用を図っていく。

佐藤 他地区と比べたときの分析と28年度の取り組みは。

●ふるさと納税

町長 海岸部、海産物の人氣が高い海産物等であれば色んな組み合わせの返礼品ができ、そういうところが多くなっていると分析している。28年度の取り組みとしては、色んなアイデアや提案をいただき、それを参考に取り組んでいきたいと思っている。

佐藤 3割の返礼品となっているが、その数字で返礼品を考えた場合、十分な事が出来るかと疑問である。その数字でよいのか。

町長 返礼合戦にならないよう

う考えながら地域振興のためやはり返礼品の額をあげて取り組むべきじゃないかということで今後検討する。

●大吊橋を含めた観光開発

佐藤 大吊橋を含めた観光開発はどうなっているのか、イベントだけでは多くの観光客の伸びは考えづらく、年々減少していくのではないかと、観光振興計画案を出すべき時期ではないか。



大吊橋観光客でにぎわう中村エリア



大吊橋同日の北方エリア

町長 過疎地域自立促進計画の中で向こう5カ年間のハード事業計画案をだしている。大吊橋も重要だが、周辺の観光地の施設整備も必要だとかんがえている。又当初施政方針の中で、新年度観光の振興計画を立てる予定であり、その中で大吊橋についても、議論が出てくると思うのでそうした中で、策定委員会や町民の声を聞きながら、大吊橋についても将来を考えていく。

「新ここのえ男女共同参画プラン」(H28年度～37年度)の推進にあたって

◆ 庁内推進体制の充実と町民参加の促進を 関係課が連携して取り組む



井上 里子

井上 本町では、男女共生社会の実現に向けて、平成8年度から、10年間を一区切りとした男女共同参画プランを策定し推進している。現在のプラン（18年度から本年度まで）は、内容は整っているが、推進力と町民参加が不十分だったと思う。間もなく成案となる「新ここのえ男女共同参画プラン」の推進にあたっては、事業の実施状況を点検していく体制づくりなど庁内推進体制の充実と、実質的な町民参加の推進にいつそう力を入れてもらいたい。

町長 庁内推進体制の充実は、担当課だけでできるものではないので、関係各課が推進項目を挙げて、連携してそれらを推進していく。住民参加によるプランの推進も、今までの体制が十分でなかったと認識している。今後、住民にも男女共同参画を認識してもらうため、いろんな関係団体にも図りながら推進していく。

『新ここのえ男女共同参画プラン』 28年度から推進



● 6年生の集合学習 効果的に実施を

井上 新年度から、ここのえ学園構想推進事業として、6つの小学校6年生を中学校に集めて、集合学習を行うということであるが、説明によると、「28年度は、6月に4回、1月に3回、計7回実施。6年生はスクールバスで中学校に移動し、5限目と6限目に音楽と体育を学習する」ということである。そのことについて、

・ 総合学習の時期は、学期初めと学期末を除いて、年間にバランスよく実施することが、児童にとつ

てよいのではないかと。学習する教科は音楽と体育だけでなく、「ここのえ学園基本計画」に示されているように、算数や国語も時間内に学習することが、期待される効果につながるのではないかと。いずれにしても、集合学習を行うことで、児童、教師に負担がかかりすぎないように、また、学習効果が出るよう実施すべきである。

教育長 学校では、学習指導要領に基づいて教育課程を編成すること、年間の標準授業時数が決まっている。その中で、集合学習をするための教育課程の調整がまだできていない。とりあえず、28年度は試行的に実施し、29年度から本格実施をし、集合学習の効果を出していきたい。

● こども園と小学校の 交流について

井上 新年度から、3地区

の5歳以下の子どもの多くが総合こども園に通園することになり、地区によっては、昼間、園児たちの姿を見かけることがほとんどなくなる。

小学校では年間行事の中で、地区の人々を案内して行う行事が運動会などいくつかある。そうした行事に地区の園児を参加させる取り組みが必要だと思う。

時々でも、地区に園児たちの姿が見えることは、人々に安心と元気を与えることになる。こうした交流をできるだけ実施するのではないか。

教育長 本町では、今ようやく就学前の教育と保育が一体的にできるところまできた。（こども園と小学校の交流については）これからしっかり議論し、また、こども園に教職の経験を持つ職員を一人配置し、幼小の連携の窓口になってもらい、提案されたことが早急に実施できるよう努力する。

あたしのひとこと

九重の自然を満喫

トレイルランニング

南山田 富迫下

矢野 輝幸さん



みなさん「トレイルランニング」って聞いたことがありますか？トレイルとは旧い道や登山道の事。それを使用してマラソンと登山をたして2で割った様な競技があります。制限時間をもうけてのタイムレースです。今全国的にも人気で数多くの大会が開催されています。その様な大会に参加しつつ健康の為に毎日ではないのですがランニングをしています。ルートはいろいろ、時間のある時は万年山山頂までいって帰ってきたり、九重の方いつてみたり、基本的には車のあまり通らない道を選んで

山の中を走る（歩くことも多々あり）んですけど、キツイけど結構楽しいんですよ。カメラもって景色を見ながら四季の移り変わりを感じながら走っています。万年山から見る九重連山であったり、逆に涌蓋山から見る万年山であったり眺望が最高級ですよ。トレイルと色んな車道が交わりつながってたくさんルートができています。町内にはそんなフイールドがたくさんあるんです。それで最近思う事が、独り占めしてもつたないのと、もって全国に知れ渡る様に、全国のランナーに走ってもらえる様にならないかと、地元で大会を開催できなかなと！と思う様になりました。もうすぐ新緑の季節です。そんな緑を浴びに山に行くべし。



素晴らしい自然の中で

ここで暮らす

Iターン白書

東飯田 竜門

西田 光夫さん



私たち夫婦は娘※の縁で四年前、東京から竜門に移住してきました。

現在、町の寿大学に在学し、今年三年課程の卒業証書も取得、『住めば都』の言葉と、九重町の『日本一の田舎づくり』の意味が少し理解できたような気がしてきました。

昨年の七月に、近所の閉店していた旅館が数年ぶりにオープンし、80歳にして就職しました。地元の方々、地元の酒造会社の応援も頂き、支配人として営業から厨房まで全てを任せられ、地元の食材をもとに献立とか多忙

な仕事ですが、竜門温泉の活性化、九重町の観光事業に微力ながらお役に立てたら、と頑張っております。

また、一昨年は商工会、昨年は寿大学から依頼され、課題は「今を生きる」「いつまでもカッコいい年寄りでありたい」について講演させていただきました。

九重町はまさに高齢者の多い町です。老いながらも、常に新しいものに挑戦していれば老化を防ぐ源になります。九重町の人は柔らかい心を持った人ばかりです。高齢者の

の元気な町づくり、私は人と自然を楽しんで何事にもチャレンジ精神を持って歩いて行こうと思っています。



平成27年度寿大学卒業式

※娘の仕事

九重町のキャラクター「ミヤちゃん」のデザイナー、「にしだあつこ」です

傍聴へどうぞ 次回は6月です



飯田小学校 卒業生の演奏



東飯田こども園の お別れ遠足



このえ ふさと便り 第1便



第28回 栗おこし駅伝大会



野上小学校の 卒業式

議会だよりについてご意見をお聞かせください。【議会事務局：76-3814】

編集後記

子ども達の数が減ったなあ！卒業式や入学式に参加して、しみじみ感じた。この子らが大人になった時。この街の人口は？自然や田畑や集落は？現状を維持するために、雇用の場の確保、結婚、子育ての支援、増加する高齢者の医療、福祉、介護、生きがい対策など町民の悩みと行政の課題は多い。

限られた予算で最大限の効果を生むために、町民の声を聴き議員と職員がなお一層力を合わせて頑張らねばと思っています。議会と町民を繋ぐ議会だよりを、読者に愛され手に取ってもらえるように、裏表紙を23回にわたり、『思い出のアルバム』と称し、古い写真を掲載してきましたが、この辺で雰囲気を変えてみることにしました。

より良い広報紙にするために皆様の声をお待ちしています。

藤原 三治

・広報委員長 大津留敏加
・副委員長 佐藤 明郎
・委員 井上 里子
・委員 小川 克巳
・委員 藤原 三治
・委員 有吉 富生